

第61回 :マルクスの警句

三十六計と聞けば、日本人は条件反射的に「逃げるに如かず」と反応するが、実はこれ中国の故事 教訓をとりまとめた兵法書である。『瞞天過海』から始まり、「借刀殺人」、「隔岸觀火」、「美人計」、「空城計」などと続く最後の第三十六計が「走为上 = 逃げる以て上策と為す」なのである。兵法書であると同時に中国三千年の歴史から生み出された知恵や処世訓のエッセンスとも言えようか。そこに登場する二十三番目の計が「遠交近攻」である。「遠きと交わり、近くを攻める」とは、なるほど、これが外交政策の手本といえるだろう。最近日本と中国との関係が悪化しているが、これはどこの国でも発生する近所同士の喧嘩であり、別に気にすることはない。そもそも隣国同士で仲の良いカップルなど見たことがない。例えば独仏、米墨、中露、中印、これらの国々は全て犬猿の仲と言ってよいだろう。オセアニア勢も決して仲が良いとはいえないようだ。ニュージーランド人がオーストラリア人に向かって「お前は囚人の子孫だろう」と揶揄すると、オージーは「おれのご先祖様はお前たちの先祖のように食い詰めて流れ込んできた貧乏人ではなく、国王陛下の勅許を得て新大陸に派遣されたエリートなのだ」とやり返した場面を見たことがある。

しかし隣国同士にも拘わらず極めて仲の良いカップルも稀に存在する。中華人民共和国と朝鮮民主主義人民共和国である。この10月、中国の軍事委員会副主席に就任した習近平国家副主席が北京で挙行された朝鮮戦争60周年の記念行事で「朝鮮戦争は平和を守り侵略に立ち向かった正義の戦争である」と老兵たちの前で演説し、いま韓国中が激怒している。無理もない。朝鮮戦争のきっかけは北朝鮮の南進であるのは国際的に公認された歴史的事実であり、旧ソ連の文書もそれを証明している。北朝鮮の電撃作戦により、あっという間に38度線が突破されてソウルは陥落した。北朝鮮の南進は止まらず、韓国軍は釜山の近くまで追い詰められ、ほとんどダンケルクのような状況にあった。この危機を打開すべくマッカーサー元帥は周囲の反対を押し切り仁川逆上陸作戦を実行する。この起死回生の大博打が成功し、これで形勢が完全に逆転する。そして雪崩を打って敗走する北朝鮮軍を掃討し有頂天のマッカーサーに冷水を浴びせたのが、突如鴨緑江を渡り北朝鮮救援に駆けつけた雲霞の如き義勇軍(中国人民志願軍)であった。義勇軍といえばヘミングウェイやマルロー、オーウェルたちが参加したスペイン内戦が有名だが、中国の義勇軍は100万人規模の正規軍により構成されていた。総司令官は人民解放軍で第二位の彭徳懐元帥。なぜ義勇軍と呼称したかといえば、もしこの戦争で国連軍(=米軍)に負けた時、米軍に中国侵攻の口実を与えないため、人民解放軍を義勇軍に偽装したのである。いま中国では悪徳商人たちが跳梁跋扈しておりニセモノを本物と偽って売っているが、むかしは逆で本物をニセモノと偽った時代もあったのである。

この戦争で北朝鮮は250万人、韓国で150万人、米軍は6万人が死亡したといわれている。人民解放軍の死亡者も病死や凍死を含めれば100万人という説もあるが、最近中国国防大学の専門家が推定死亡者18万人という論文を発表した。どちらが正しいデータか不詳だが、仮に18万人としても10個師団の消滅に等しい損害とは尋常ではない。毛沢東の長男 毛岸英もこの戦争で戦死している。中国が北朝鮮を救うために支払った代償は大きく、その犠牲の上に築かれた友好関係を両国は「血の友誼」と呼んでいる。さすがに

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 03-5117-1040

最近の中国ではこの生々しい表現をテレビや新聞で見るとは少なくなったが、北朝鮮では今でも公式に「血の友誼」(中国語で「中朝鮮血凝結的友誼」)と呼んでいる。

さて「正義の戦争」と発言し、韓国の猛反発を招いてしまった習近平氏は、このたび軍事委員会副主席に就任したことにより、2年後の中国共産党第18回大会で胡錦濤の後継者に選出されることがほぼ確実となった。中国に新しい指導者が誕生すれば世界各国から祝電が届けられ、それが中国のメディアに掲載されることになるが、届けられた祝電を公表する際も序列が存在する。中国の外交ルールでは同じ社会主義の友好国が優先され、その中でも北朝鮮からの電報が真っ先に公表される。第二位はカンボジアかベトナムか忘れたが、これも社会主義の友好国である。この序列はこれからも続くであろう。だから中国人に向かって「北朝鮮は君たちの最も親しい友人だからね」と言えばみんな嫌な顔をする。

中国・北朝鮮両国が尊敬する社会主義の先達カール・マルクスは「レイ・ボナパルトのブリュメール18日」の冒頭で「ヘーゲルはどこかで『世界史の大事件と大人物はいわば二度現われる』と言っている。しかし彼は、一度は悲劇として、二度目は喜劇(茶番劇)として、と付け加えるのを忘れた」と皮肉たっぷりの警句を吐いている。若い頃この本を読んだことがあるが、注釈だらけで何度読んでもよく理解できなかった。読んで理解できる鋭い人もいるのだろうが、どうも世の中ではこの有名なセリフだけが一人歩きしているような気がする。なぜこの本を思い出したかといえば、最近中国と北朝鮮から飛び込んできたビッグ・ニュースを聞いて、なぜかこのセリフが頭に浮かんだのである。

政治の民主化を求める「08憲章」を発表したがゆえに国家反逆罪に問われ、いま獄中にいる劉暁波氏は1989年、中国で民主化運動が勃発すると、コロンビア大学の客員研究員として滞在中の米国から祖国に戻り運動に身を投じた。天安門事件で民主化運動が挫折してはや20年、当時天安門広場に陣取っていた若者たちの多くが転向したり、逃亡先の海外で自堕落な生活を送っているなか、同氏は一貫して政治の自由化を訴え続けてきた。同氏のノーベル平和賞の受賞は中華人民共和国第一号の記念すべき受賞なのだが、中国政府は犯罪者に賞を与えるとは何事か！と怒りまくっているようだ。

一方、中国の最友好国である北朝鮮においても世代交代の時期が近づいているようで、金正日主席の三男、金正恩氏が朝鮮人民軍大将として序列第5位に躍り出た。もし彼が将来最高指導者に就任することになれば、建国より数え世襲が三代続くことになる。親子で政権が禅譲された例は台湾・シンガポールにもあるが、三代目とは聞いたことがない。むかし学校の世界史で李氏朝鮮と学んだが、いずれ金氏朝鮮と教科書に書かれるようになるのだろうか。金正日主席が初めて国民の前に姿を見せたのが1980年、丁度30年前である。北朝鮮において、金正日氏がデビューした30年後の今年、息子の金正恩大将がデビューした。一方中国では天安門事件の約20年後の今年、その活動家にノーベル平和賞が贈られた。この両国の歴史的な大事件において「レイ・ボナパルト……」のマルクスの警句は的中したといえるだろう(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年10月28日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合は、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集、売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物 株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物 株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

